令和4年度　工事仕様書・設計内訳書

工事名称　　工事成績優良業者対象工事
明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事

工事場所　　明石市沢野1-3-1

工期　　契約の翌日から、令和5年3月10日まで

技術者等　　現場代理人：他工事との「兼務可」
主任又は監理技術者：「非専任」

課長	担当課長	係長	係長	係長	精算者	担当(建築)	担当(電気)	担当(機械)

明石市都市局住宅・建築室営繕課

1. 設計コード　04HB0210
2. 工事内容（・新築　・増築　・改築　◎ 改修）
・南校舎（①及び⑧棟）の外壁全面改修（約3,500㎡）
3. 支払条件
①前　金　払　当該会計年度の出来高予定額の40%以内
②中間前金払　当該会計年度の出来高予定額の20%以内
③部　分　払　令和4年度内1回以内
④完　成　払　完成後、残額一括支払い
4. 特記事項
①関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。
②省エネ、省資源、廃棄物の減量、リサイクルの推進等により、環境負荷の低減を図ること。
③「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡しが完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。
④引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。
⑤原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。
学校園の工事では原則として、土曜日の校舎内での作業を行わないこと。
⑥万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。
⑦営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。
⑧敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。
⑨工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。
⑩工事期間中は、必要に応じて交通誘導員を増員すること。
⑪工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。
⑫本設計書は公共建築工事積算基準等（2022年1月1日時点の最新版）に基づき積算している。
⑬公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

建築工事

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
外壁改修	1	式		
計				

建築工事　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生(外壁改修)		458	㎡			
整理清掃後片付け(外壁改修)		458	㎡			
サッシ養生・清掃	ｶﾞﾗｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、水切り共	871	㎡			
外部足場(くさび又は枠組・手摺先行方式)	建枠1200・4ヶ月程度 安全手摺・足場板・架払・運搬費共 軒面(一般部・一部出入口梁枠共) GHP養生共	2,364	㎡			
外部足場(くさび又は枠組・手摺先行方式)	建枠900・4ヶ月程度 安全手摺・足場板・架払・運搬費共 妻面(一般部・妻面)	518	㎡			
仕上足場	バルコニー等上裏用・4ヶ月程度 階高4.0m以下・運搬共	261	㎡			
養生ｼｰﾄ張り	防炎Ⅰ類・4ヶ月程度　運搬共	2,882	㎡			
計						

建築工事	外壁改修					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜外壁改修＞						
既存外壁面事前調査	目視・打診・ﾏｰｷﾝｸﾞ・計測・図面記入・報告書提出	3,503	㎡			
既存外壁面高圧水洗	30～50MPa程度　劣化部除去 ※必要に応じてケレン	3,503	㎡			
浮き部ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ　16本/㎡	320	㎡			
欠損部ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填工法	500～600mm角程度,欠損及び露筋 深さ　30mm程度	10	か所			
欠損部ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充てん工法（箇所）	100～200mm角程度,欠損及び露筋 深さ　30mm程度	75	か所			
欠損部ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充てん工法（m）	100mm幅程度,欠損及び露筋 深さ　30mm程度	50	m			
欠損部ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充てん工法	角部100×100×60mm幅程度,欠損及び露筋	5	m			
ひび割れ部ｴﾎﾟｷｼ樹脂低圧注入工法	ﾎﾟﾝﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞｰ工法同等 ひび割れ幅1mm以下　壁厚150mm程度	70	m			
ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法 端部ﾓﾙﾀﾙ擦付け	ﾓﾙﾀﾙ塗AV.t10程度　ﾃｰﾊﾟｰ処理 W125～200程度	416	m			
ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法	ｺﾆｼ(株) ﾎﾟﾝﾄﾞｶｰﾎﾞﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法同等 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・庇壁～上裏・ﾀｲﾙ壁面等	958	㎡			
既存厚肉リシン面下地調整費	CM-2・ｶﾁｵﾝ系　ｺﾃ塗 柱型・上裏等	1,202	㎡			
既存塗材面下地調整費	C-2・ｶﾁｵﾝ系　ｺﾃ塗 壁・梁等 ※ﾋﾟﾝﾈｯﾄ部分除く	1,120	㎡			
複層塗材 E	上塗2回　水系ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ　つやあり ゆず肌状　ﾛｰﾗｰ塗り 下地調整費別途	2,161	㎡			
外装薄塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　砂壁状　吹付け 下地調整費別途	581	㎡			
装飾仕上げ塗材	ｴｽﾀｰ化研・ﾍﾞﾙｱｰﾄ(くし引き)同等 既存ﾀｲﾙ面	76.9	㎡			
既存ﾓﾙﾀﾙ面塗膜防水下地調整費	C-1・ｶﾁｵﾝ系 庇・梁・手摺等各天端	684	㎡			
ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2工法・平面、立上り共 下地調整別途 庇・梁・手摺等各天端	616	㎡			
ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ加工)	X-2工法・平面、立上り共 下地調整別途 階段及び一部渡り廊下床(巾木共)	67.4	㎡			

建築工事　外壁改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
防水保証標識	ｱｸﾘﾙ板200×150×t3.0ｴｯﾁﾝｸﾞ文字 (ｳﾚﾀﾝ防水及びﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法)	2	か所			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2・15×10 既存ｱﾙﾐ建具廻り等 (ｻｯｼ躯体取合い)	1,377	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	MS-2・15×10 既存ｱﾙﾐ建具水切取合い	54.3	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2・25×15程度 躯体打継目地 柱型・妻壁面	155	m			
竪樋新設	ｶﾗｰVP　φ100 SUS支持金物共	223	m			
竪樋新設	ｶﾗｰVP　φ75 SUS支持金物共	26.4	m			
既存ﾄﾞﾚﾝ脱着・塗装	ﾀｰﾙｴﾎﾟ塗・錆落とし共　Φ100用程度 ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ1箇所・中継ﾄﾞﾚﾝ16箇所	17	か所			
DP塗替え(対候性塗料・ふっ素樹脂系)	下地調整RB種　上塗り1級(フッ素) 糸巾300程度・既存鋼製手摺・ﾀﾗｯﾌﾟ・ 消火管など鋼管類	458	m			
<その他>						
電線管等脱着 (上裏面)	副資材補充共(電工4名程度)	1	式			
給水管　保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 32A	4	m			
給水管　保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ 屋外露出,浴室　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 40A	8.3	m			
【撤去・処分】						
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共 サッシ廻り	1,431	m			
竪樋撤去	VP管・支持金物共 集積共	249	m			
給水管等　保温撤去	給水保温管及び消火保温管 屋外露出,浴室　ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 32～40A　再使用しない	40.3	m			
廃棄物ｺﾝﾃﾅ処分	4.0m3 ※ｼｰﾘﾝｸﾞ・樋・金物・塗材・ﾗｯｷﾝｸﾞなど	8	台			
廃棄物ｺﾝﾃﾅ 設置・運搬	4.0m3	8	台			

建築工事	外壁改修					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
計						

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮囲い ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ	H1800×W1800 運搬費共　4.5ヶ月程度	62	m			
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H1800×W3600 運搬費共 4.5ヶ月程度	1	か所			
仮囲い ｶﾗｰｺｰﾝ	H700 ｺｰﾝﾊﾞｰ･運搬費共 仮設施工時等	40	m			
仮設鉄板敷	敷鉄板　運搬費共　4.5ヶ月程度 1524×6096×22mm	36	㎡			
樹木枝払い	中木(H6m程度)×2本 運搬処分共	1	式			
整地	清掃・不陸成形程度 進入路･仮囲内･足場周辺(ﾃﾆｽｺｰﾄ共)	1	式			
交通誘導警備員B		110	人			
計						

改修特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事場所　工事仕様書のとおり
2 敷地面積
3 工事種目
4 工事内容

Ⅱ 建築改修工事仕様

1 共通仕様

本図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「改修標仕」という）による。
ただし、改修標仕に規定されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という）による。

2 特記仕様

（1）項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。⊙印と⊗印の付いた場合は、ともに適用する。
（3）特記事項に記載の［　．　］の表示番号は、改修標仕の該当項目又は該当表を示す。
（4）特記事項に記載の＜　．　＞の表示番号は、標仕の該当項目又は該当表を示す。
（5）使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択すること（各項共通事項）。
（6）構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先すること（各項共通事項）。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（(社)公共建築協会　最新版） ※ 工事写真の撮り方　建築編（(社)公共建築協会　最新版） ※ 工事写真撮影ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ　建築工事編及び解体工事編（(社)公共建築協会　最新版）
	② 工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ（CORINS）の登録	※ 請負代金額が500万円以上の場合、適用する。　[1.1.4]
	③ 再生資源利用（促進）関係	※ 計画書及び実施書を作成する（Excelデータ可） ※ 建設リサイクル関係法令に基づく通知･届出等の必要がない工事はデータのみ提出
	④ 品質計画等	建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※ 防水改修工事　※ 外壁改修工事　※ 屋根改修工事 ※ 風速Vo=34m/s 地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ） ※ 積雪区分　H12建告1455号　別表（　　）
	⑤ 電気保安技術者	※ 適用する　[1.3.3]
	⑥ 施工条件	※工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所　[1.3.5] ※ 工事現場内　・工事現場外（賃料は工事費に含む） 施工順序の制約　・あり　[1.3.5] その他の施工条件は、監督職員との協議による。　[1.3.5]
	⑦ 発生材の処理等	発注者に引渡しを要するもの　・有（　）※無　[1.3.12] 特別管理産業廃棄物　・有（　）※無　[1.3.12] 現場において再利用を図るもの　・有（　）※無　[1.3.12] 現場において再資源化を図るもの　・有（　）※無　[1.3.12] ・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞを除くｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の処分 ※ 埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ひ素及びカドミウム含有せっこうボードの処理　[1.3.12] ※ 他のせっこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びひ素、ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞ以外のせっこうﾎﾞｰﾄﾞの処理　[1.3.12] ※ 最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シーリング材の分析調査　・行う　[1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査　・行う　[1.3.12]
	⑧ 建築材料等	※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新版）」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。
	⑨ 特別な材料の工法	※ 改修標仕及び標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
	⑩ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法　※ 図示　[1.5.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※ 図示　[1.5.3]
	11 技能士	[1.6.2] 適用する技能検定の職種 ／ 作業の種別
	⑫ 完成図等	※ 完成図　[1.8.1～1.8.3][表1.8.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ・二つ折り製本２部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記） ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ ※ 保全に関する資料　・１部　※ ２部
	⑬ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・二つ折り製本１部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記） ・A３程度で経微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込みも可とする。
	⑭ 工事写真	工事写真の撮影対象　※ 監督職員と協議　・図示　[1.2.4] デジタルカメラ撮影も可（解像度ほか、監督員と協議） 記録紙　※ マット紙　・その他（　　） ※ 出来形確認用の完成写真は、工事写真として撮影すること。下記の完成写真と混同しないこと。
	15 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 原板の大きさ(mm) ・カラー ・八つ切り版 ・キャビネ版 ／ 外観（4）面 内観 各（ ）面 ／ ※ 1 ／ ※ 24×36 撮影業者　・建築完成写真撮影の実績のある業者 ・建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁　・写真用装飾アルバム（白表紙、金文字） ・市販アルバム
	17 設備工事との取り合い	※ 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。
	⑱ 設計GL	※ 図示　・設計GL=現況GL
	⑲ 交通誘導員	※ 要（延べ 110人） ※ 資格等の要件 ・交通誘導員A（１、２級交通誘導警備検定合格者） ⊙交通誘導員B（警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事する者）
2 仮設工事	① 足場その他	内部足場　※ 脚立、足場板等　・枠組棚足場　[2.2.1] 外部足場　⊙枠組本足場(手摺先行) 又は ⊙くさび緊結式足場 ・図示 防護シート等　※ メッシュシート　・防音シート　[2.1.3] ・防音パネル　・図示 ・設置しない 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※ 図示　[2.1.3] 外部足場、防護シート等の設置及び範囲　※外壁改修範囲全面　[2.2.1] 材料、撤去材等の運搬　[2.2.1][表2.2.1] ・A種　⊙B種　・C種　・D種　・E種
	② 養生	既存部分の養生　※ ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ、合板等　・行わない　[2.3.1] 既存家具、既存設備等の養生　[2.3.1] ※ ビニールシート等（監督職員の承諾要） ・仮撤去、保管（工事完成後、再取付） 既存ブラインド、カーテン等の養生等　[2.3.1] ※ ビニールシート等 ・仮撤去、保管（工事完成後、再取付） ・図示　・行わない 保管場所、保管方法等　※ 監督職員との協議による　[2.3.1] 固定家具等の移動　※ 図示　・行わない　[2.3.1]
	3 仮設間仕切り	仮設間仕切りの種別　[2.3.2][表2.3.1] 種別 ／ 下地 ／ 仕上材(厚さ mm) ／ 充填材(mm) ／ 塗装 ・A種 ／ ・軽量鉄骨 ・木下地 ／ ・合板（※ 9.0　・ 5.5） ・防音用グラスウール ・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（※ 9.5　・ 12.5） ／ ・無し ・片面 ・B種 ※ C種 ／ 単管下地 ／ ・防炎シート 仮設扉 ／ ※ 木製 ・鋼製 ／ ※ 合板張り程度 ・片面フラッシュ程度 ／ ・無し ・有り
	4 監督職員事務所	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　※ 図示　[2.3.2] ・既存建物内の一部を使用する　[2.4.1] ・工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模　・（　　）㎡程度　[2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度　[2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・その他の備品（　　）
	⑤ 表示板	※ 設置する（明石市指定様式（900×600））　[2.4.1] （ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る） 認定技術者による施工体制とすること。
	⑥ 工事用水	構内既存施設　・利用不可　⊙利用可（・有償　⊙無償）
	⑦ 工事用電力	構内既存施設　・利用不可　⊙利用可（・有償　⊙無償）
	⑧ 仮設物撤去等	※ 原形に復する　[2.5.1]
3 外壁及び防水改修工事	① 施工数量調査	調査範囲　※ 外壁改修範囲全面　・図示　[1.5.2] ※ 調査内容 目視及び打音調査等により、ひび割れ、欠損、浮き等、劣化種別ごとに色分け、付番し、幅、長さ、範囲、ピン本数等を壁面に表示の上、写真及び集計表等を調査報告書として整理し、提出すること。併せて、ひび割れ部の挙動、漏水及び錆汁の有無を調査する。 （壁面への表示方法及び写真撮影方法は、集計表との比較が容易に行えるよう工夫すること） 調査報告書の提出部数　※ 1部
	② 外壁改修工法の種類と適用	施工箇所、施工内容、数量等及び上記の施工数量調査に基づき、適切な改修工法の選定を行い、監督員と協議の上、適用範囲を決定し、施工すること。 なお、設計と大幅な差異が認められた場合は、事前に監督職員と協議すること。
	③ ピンネット工法	※ピンネット工法は下記の工法同等とし、施工技術を取得した認定技術者による施工体制とすること。 ・ﾎﾟﾝﾄﾞｶｰﾎﾞﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法（ｺｺｼﾞ(株)） ・ﾀｹﾓﾄﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法（全日本外壁ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工事業協同組合） ・ﾈｯﾄﾊﾟﾘｻｰ工法(株)ﾘﾉﾃｯｸ） ※第三者賠償責任保険付き
	④ 防水改修工事の種類及び工法	施工箇所、種類、工法等　※ 図示　・下表 [3.1.4][表3.1.1][3.3.2][3.3.3][表3.3.3～10][3.4.2][3.4.3][表3.4.1～3][3.5.2][3.5.3][表3.5.1～2][3.6.3][表3.6.1～2][3.7.2][3.7.3][表3.7.1] 施工箇所/部位 ／ 既存防水層種別等 ／ 処理(改修工法) ／ 新規防水層種別等
	5 既存防水層の処理	（種類、厚さ、露出防水の仕上塗料の種類及び使用量、硅砂入などを記入する） 既存防水層（立上り部等）の撤去　[3.1.4][表3.1.1] ⊙図示　※ ルーフィング類の製造所の仕様 改修用ドレン　・設ける　[3.2.5] 既存下地の補修及び処置　[3.2.6] 補修箇所の形状、長さ、数量等　※ 図示 ひび割れ部の処置　※ 図示 欠損部、浮き部、ぜい弱部の処置　※ 図示 下地調整材　※ C-1　・ C-2(図示)　・ CM-2 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　[3.2.6] （M4AS、M4ASI、M4C、M4DI、L4X工法の場合） ・除去する 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 図示　[3.2.6] 架台廻り等の処理　※ 図示　・監督員と協議　[3.2.6]
	⑥ 防水保証	※ 三者連名による防水保証期間　※ 10年　・ 5年 ※ 保証開始日は、「工事完成日の翌日」とする。
	⑦ 防水保証施工標識	※ ｱｸﾘﾙ板（200×150×3.0）にｴｯﾁﾝｸﾞ文字書込み、SUSﾋﾟｽ留め ※ 工事名称、受注者名、施工業者名、使用材料メーカー名、防水種別、商品（工法）名、施工箇所、保証期限を明記） ※ 取付箇所は、監督職員との協議による。
	⑧ 既存外壁塗材等の撤去	※ 工事に先立ち、事前調査結果を基に建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、大気汚染防止法労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、環境の保全と創造に関する条例等に基づく届け出及び工事現場での各種届け出に基づく掲示（表示）を行うこと。 ・ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上塗材・下地調整材の除却については、集塵装置付超高圧水洗工法（100ＭＰa以上）同等の工法とする。 ・作業前・作業中・作業後に粉塵測定を行い、記録を整備すること測定は（ ）地点で行い測定地点は、監督員の指示による。
4 塗装改修工事	① 耐候性塗料塗り	鉄鋼面耐候性塗料塗りの種別　[7.8.2][表7.8.1] ・A種　⊙B種　・C種 鉄鋼面耐候塗料塗りの上塗り塗料の等級　※ 図示 ⊙１級（ふっ素）　・２級（ｼﾘｺﾝ）　・３級（ｳﾚﾀﾝ） 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りの種別　[7.8.3][表7.8.2] ・A種　・B種　・C種（鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ面） 亜鉛めっき鋼面耐候塗料塗りの上塗り塗料の等級　※ 図示 ・１級（ふっ素）　・２級（ｼﾘｺﾝ）　・３級（ｳﾚﾀﾝ） ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の種別　[7.8.4][表7.8.3] ・A-1種　・A-2種　・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種

特記事項

(2020年３月改定)

課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
花畑		花畑		2022年 8月	明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事	1
明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 改修工事特記仕様書　縮尺 ―	全葉 5

建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。（参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行　建築材料等評価名簿）

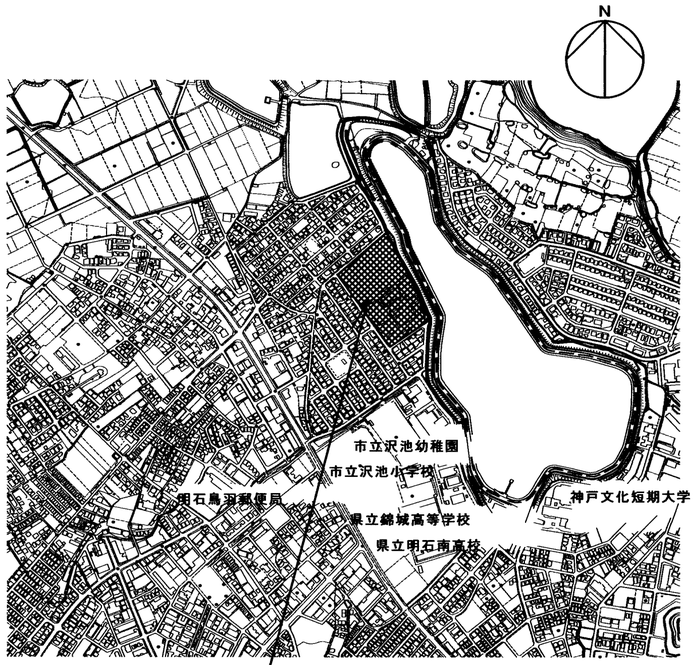
	名称・品名	会　社　名
防水工事	アスファルト 及び 改質アスファルトシート	・七王工業㈱　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・昭石化工㈱　・㈱ＡＲセンター
	合成高分子ルーフィング　加硫ゴム系ルーフィングシート	・三ツ星ベルト㈱　・シバタ工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・ニッタ化工品㈱　・アサヒゴム㈱
	合成高分子ルーフィング　塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・アーキヤマデ㈱　・ロンシール工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・早川ゴム㈱
	塗膜防水（塗布）　ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱　・ニッタ化工品㈱　・三ツ星ベルト㈱　・AGCポリマー建材㈱
	塗膜防水（塗布）　ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・㈱ウォータイト
	塗膜防水（塗布）　ケイ酸質系 及び ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系・EVA系	・大関化学工業㈱　・昭和電工建材㈱　・大日化成㈱　・ユニオン建材工業㈱
	シーリング	・コニシ㈱　・セメダイン㈱　・サンスター技研㈱　・日本シーカ㈱　・横浜ゴム㈱
	※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。	
石工事	石	・関ヶ原石材㈱　・矢橋大理石㈱　・神戸大理石工業㈱　・㈱池西石材
	人工大理石	・㈱アドヴァン　・㈱エービーシー商会　・アイカ工業㈱　・㈱シブタニ
タイル工事	タイル	・㈱ＬＩＸＩＬ　・㈱ダントー　・ＫＹタイル㈱　・ＴＯＴＯ㈱　・ニッタイ工業㈱
木工事	兵庫県産木材	・兵庫県木材業協同組合連合会（兵庫県木連県産木材供給部会）会員メーカーによる 。
屋根・樋工事	金属板	・ＪＦＥ鋼板㈱　・㈱淀川製鋼所　・日鉄住金鋼板㈱　・元旦ビューティー工業㈱　・三晃金属工業㈱
	シングル	・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱
	塩化ビニル製樋	・ケイミュー㈱　・三菱ケミカルインフラテック㈱　・タキロンシーアイ㈱　・積水化学工業㈱
金属工事	アルミ笠木 ＥＸＰ．Ｊカバー	・㈱エービーシー商会　・理研軽金属工業㈱　・三協立山㈱　・㈱パラキャップ社　・カネソウ㈱
	天井・床点検口	・ナカ工業㈱　・理研軽金属工業㈱　・㈱ダイケン
	グレーチング ステンレス金物 排水金物等	・カネソウ㈱　・㈱ニムラ　・福西鋳物㈱　・㈱中部コーポレーション
	建築金物（手摺・ﾉﾝｽﾃｯﾌﾟ）（見切金物等）	・ナカ工業㈱　・ワイエム工業㈱　・ケージーパルテック㈱　・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱　・㈱ナスタ　・㈱ダイケン　・神栄ホームクリエイト㈱（旧新協和）　・㈱アシスト
建具工事	シャッター オーバーヘッドドア	・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・東洋シャッター㈱　・金剛産業㈱
	自動ドア開閉駆動装置	・ナブテスコ㈱　・扶桑電気工業㈱
	鍵	・㈱ゴール　・美和ロック㈱
	ハンガードア	・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・㈱くろがね工作所　・小松ウォール工業㈱　・コマニー㈱
	スライディングウォール	・㈱ニチベイ　・立川ブラインド工業㈱　・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱
	トイレブース	・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱　・信越ファインテック㈱　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱
	ガラス ガラスブロック	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱ ・日本電気硝子㈱（電気硝子建材㈱）
	スクールパーテーション（鋼製軽量建具）	・コマニー㈱　・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・小松ウォール工業㈱
	防煙垂壁	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱　・㈱ミヨシ　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱

	名称・品名	会　社　名
塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱　・大日本塗料㈱　・ロックペイント㈱　・㈱トウペ　・大同塗料㈱　・神東塗料㈱　・大谷塗料㈱
	吹付塗装	・菊水化学工業㈱　・エスケー化研㈱　・ＡＧＣコーテック㈱　・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱ ・神東塗料㈱　・大日本塗料㈱　・㈱ハマキャスト（天然石調）
内外装工事	フローリング	・大建工業㈱　・朝日ウッドテック㈱　・㈱ウッドワン　・天龍木材㈱　・永大産業㈱　※県産木材の指定があれば木工事の項による。
	ビニル床タイル	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・㈱サンゲツ
	ビニル床シート	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・タキロンシーアイ㈱　・㈱サンゲツ
	カーペット	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱サンゲツ　・㈱スミノエ　・アスワン㈱
	クロス	・リリカラ㈱　・㈱サンゲツ　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱スミノエ
	メラミン不燃化粧板（抗菌）	・アイカ工業㈱　・イビケン㈱　・日本デコラックス㈱
	岩綿吸音板	・大建工業㈱　・東洋テックス㈱　・吉野石膏㈱
ユニット及び その他の工事	カーテン・舞台幕	・㈱スミノエ　・アスワン㈱　・㈱川島織物セルコン　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱サンゲツ
	流し台	・ナスラック㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・タカラスタンダード㈱　・㈱トーヨーキッチンスタイル
	シャワーユニット	・ＴＯＴＯ㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・パナソニック㈱　・日ポリ化工㈱
	教育施設用家具	・㈱西尾家具工芸社　・㈱内田洋行
	ブラインド	・立川ブラインド工業㈱　・㈱ニチベイ　・トーソー㈱
	舞台装置	・㈱博電舎　・㈱シネマ工房　・㈱オーエス　・日本スクリーン㈱
	屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱　・㈱丸橋鉄工（代理店㈱カンサイ）　・セノー㈱
	体育器具	・セノー㈱　・㈱小川長春館　・㈱ニシオカ　・日本体器㈱
屋外附帯工事	フェンス	・ＪＦＥ建材㈱　・朝日スチール工業㈱　・日鉄建材㈱
	防球ネット	・塚本商事機械㈱　・朝日スチール工業㈱　・㈱アスノ　・㈱センターサービス
外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック　・菊水化学工業㈱　・ショーボンド建設㈱　・大成工材㈱　・㈱伏見工業
	ピンネット工法【施工】	・コニシ㈱（ﾎﾞﾝﾄﾞｶｰﾎﾞﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　・㈱リノテック（ﾈｯﾄﾊﾟﾘﾔｰ）　・全日本外壁ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工事業協同組合（ﾀｹﾓﾙﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　※第三者賠償責任保険付
	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有塗材等除去工法【施工】	・ダイオーテック㈱（ﾊﾞｷｭｰﾑﾌﾞﾗｽﾄ）　・㈱マルホウ（ｳｫｰﾀｰｸﾘｰﾝ）　・㈱アシレ（ﾊﾞｷｭｰﾑｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ）　※集塵装置付除去工法

令和4年（2022年）4月改訂

特記事項

課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
花田		花田	北	2022年 8月	明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事	2
明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称：建築工事メーカーリスト　縮尺	全葉 5

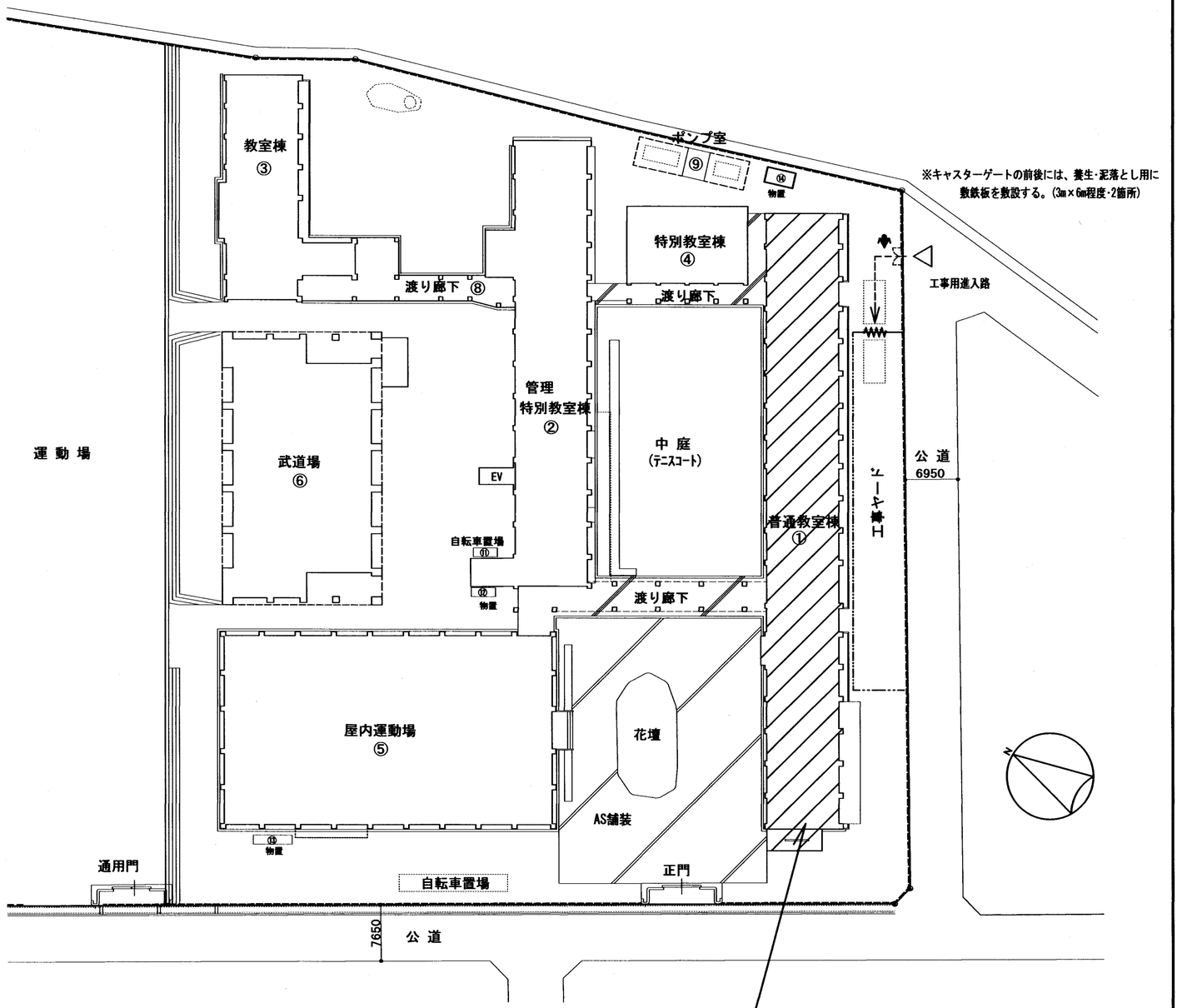


今回工事場所
野々池中学校：明石市沢野1丁目3-1

付近見取図　1/7,500

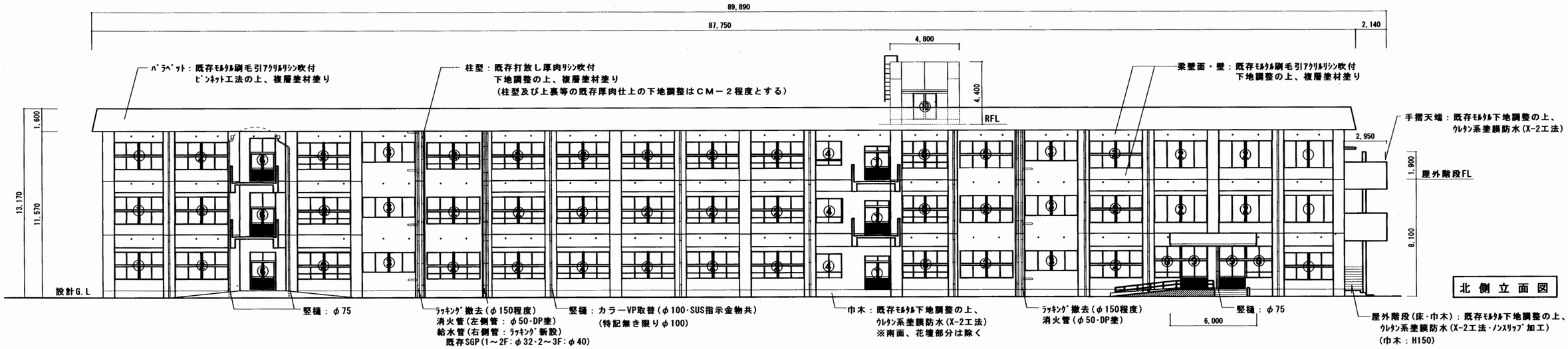
凡　例	
	今回工事対象建物
←---	工事車両、資材進入路
----	仮囲い　フェンスバリケード H=1,800
	キャスターゲート H=1,800 W=3,600
	交通誘導員(常駐)

※敷地内進入路・仮囲・足場周辺(舗装部分除く)・中庭テニスコートについては、工事完了後整地のこと
(真砂土等の搬入は不要とするが、清掃及び不陸整形に配慮のこと)
※既設GHP室外機周囲(上部共)養生(3箇所)のこと

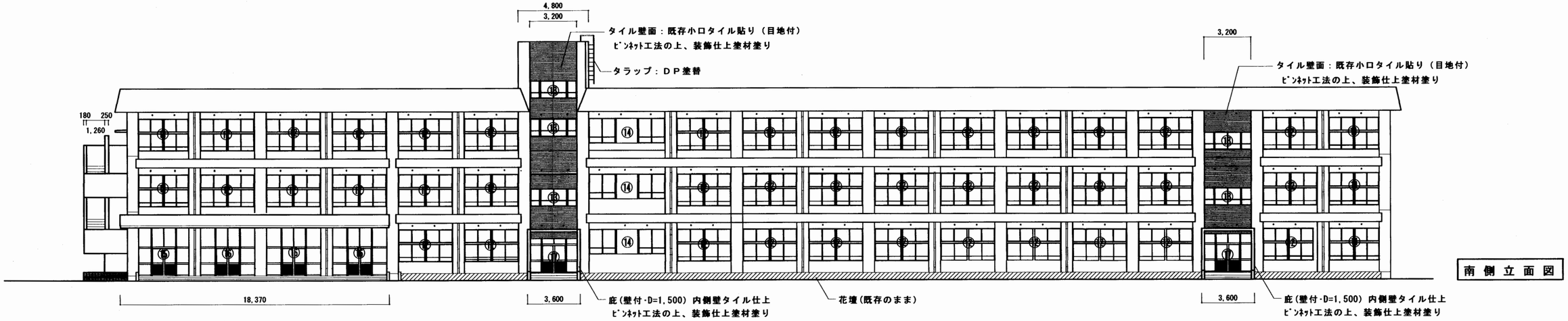


配置図　1/500

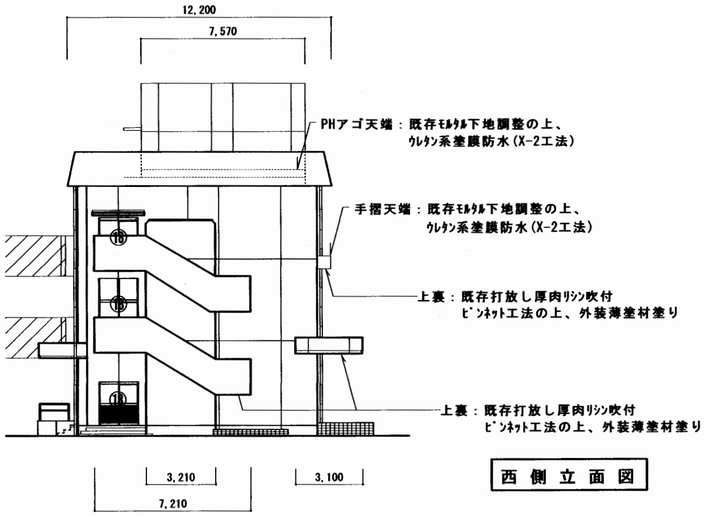
特記事項	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	内
	花田		花田			明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事	3
	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2022年 8月	図面名称 附近見取図・配置図　縮尺 1/500・7,500	全葉 5



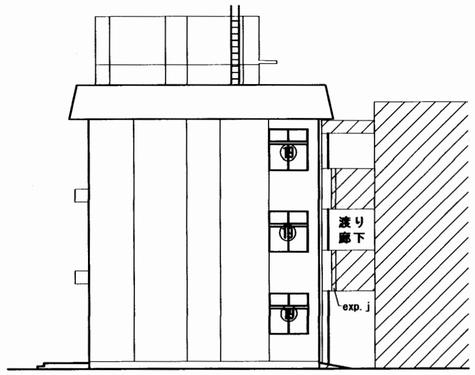
北側立面図



南側立面図



西側立面図



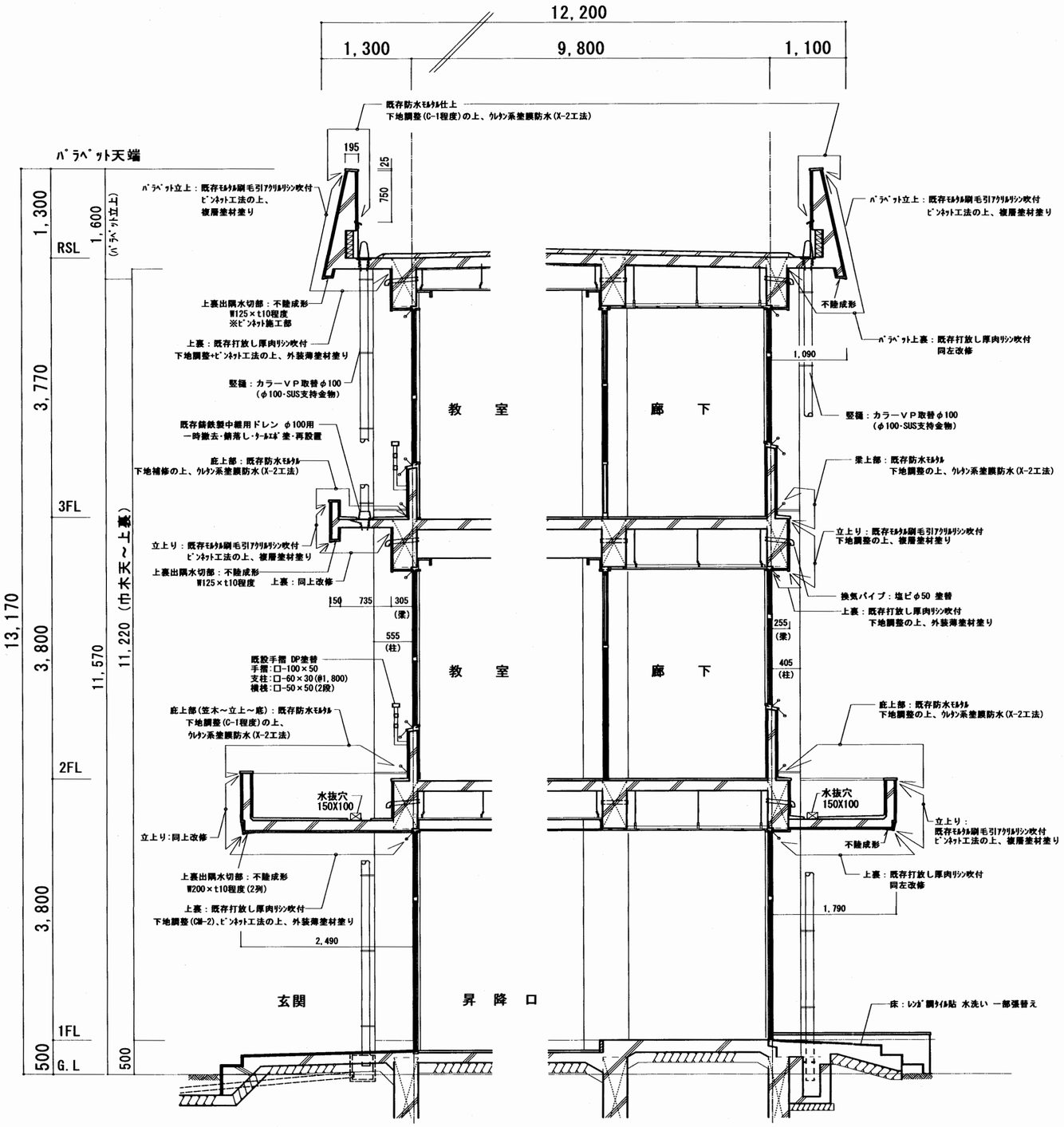
東側立面図

※該当建物（ＰＨ含む）の外壁四周全面及び
それらに付随する庇・梁・手摺天端等の防水改修
樋等全数取替（撤去・新設）を行う。

外壁改修工事対象範囲外

特記事項	・既設塗膜及び下地調整材にアスベストの含有は認められない。（調査済）	課長	担当課長	係長	担当
	・改修部分全面を高圧水洗、劣化部除去の上、浮き・クラック等全面調査し、施工数量を精査すること。	明石市都市局住宅・建築室営繕課			
	（調査初期に市監督員と状況を確認し、改修方針・工法の選定を相談の上、施工計画を立てること。）				
	（施設は使用しながらの工事となるので、生徒・教員など使用者、学校行事に配慮し施工のこと。）				

製作年月日	2022年 8月	工事名称	明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事
		図面名称	既設立面図
		縮尺	1/200
内	4	全葉	5



断面詳細図　1/50

外壁改修　参考数量表【全面】

	改修内容	施工部位	数量(校舎)	備　考
1	既存外壁面事前調査（目視・打診確認・マーキング・計測・図面記入・報告書提出）	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通(全面)	3,503㎡	屋外階段床等も含む
2	既存塗膜面高圧水洗（30～50MP・劣化部除去）	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通(全面)	3,503㎡	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有なし(調査済み)
3	浮き部アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（16穴／㎡）	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	320㎡	
4	露筋・欠損部エポキシ樹脂モルタル充填工法（500～600角×t30程度/ヶ所）	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	10か所	
5	露筋・欠損部エポキシ樹脂モルタル充填工法（100～200角×t30程度/ヶ所）	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	75か所	
6	露筋・欠損部エポキシ樹脂モルタル充填工法（W100×t30程度/m）	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ上裏	50m	
7	露筋・欠損部エポキシ樹脂モルタル充填工法（角部100×100×60程度/m）	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ上裏	5m	
8	ひび割れ部エポキシ樹脂低圧注入工法	外壁・柱・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	70m	
9	上裏出隅水切部不陸成形（W125～200・ｔ10程度・ﾋﾟﾝﾈｯﾄ施工用ｺｰﾅｰ）	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ上裏出隅 庇上裏出隅	416m	
10	ピンネット工法（ﾎﾞﾝﾄﾞｶｰﾎﾞﾋﾟﾝﾈｯﾄ工法同等）	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ外側～上裏 庇～上裏・ﾀｲﾙ壁面	958㎡	
11	既存塗材面下地調整（Ｃ－２・カチオン系）　※ピンネット部分除く	外壁・梁・上裏 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	1,120㎡	
12	既存塗材面下地調整（ＣＭ－２・カチオン系）　厚肉リシン面	柱型・上裏	1,202㎡	
13	複層塗材Ｅ（ゆず肌・ローラー・シリコントップ）	外壁・柱・梁 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ共通	2,161㎡	
14	外装薄塗材Ｅ（アクリルリシン）	上裏	581㎡	
15	装飾仕上塗材塗（ｴｽｹｰ化研・ﾍﾞﾙｱｰﾄ同等品）	タイル壁面	76.9㎡	
16	ウレタン防水（Ｘ－２）※既存防水ﾓﾙﾀﾙ及び塗膜防水面の下地調整はＣ－１とする。	昇降口・各階庇 梁・手摺天端	616㎡	
17	ウレタン防水（Ｘ－２）ノンスリップ仕上※既存ﾓﾙﾀﾙ面の下地調整はＣ－１とする。	屋外階段床 一部渡り廊下床	67.4㎡	
18	既存アルミ建具廻りシーリング打替え　（ＰＵ－２・15×10） （ＭＳ－２・15×10）	建具廻り 建具～水切	1,377m 54.3m	
19	コンクリート打継ぎ目地シーリング（ＰＵ－２・25×15）	外壁	155m	

既存サッシ寸法表（単位：m）

記号	Ｗ×Ｈ（種類）	箇所数	記号	Ｗ×Ｈ（種類）	箇所数
①	3.4×1.9(AW)	6	⑪	3.4×2.2 (AW)	5
②	3.7×1.9 (AW)	３４	⑫	3.7×2.2 (AW)	３９
③	3.7×1.4 (AW)	6	⑬	3.2×1.2 (AW)	5
④	1.8×1.7 (AW)	3	⑭	5.2×1.7 (AW)	3
⑤	3.2×1.9 (AW)	3	⑮	3.4×3.3 (AW+AD)	1
⑥	1.8×3.0 (AW+AD)	3	⑯	3.7×3.3 (AW+AD)	3
⑦	1.7×2.35 (AD)	3	⑰	3.2×2.35 (AD)	2
⑧	1.85×2.2 (AW)	2	⑱	1.8×1.9 (AD)	3
⑨	1.85×3.0 (AW+AD)	2	⑲	1.8×1.9 (AW)	3
⑩	1.9×1.8 (AD)	1			
合　計					１２７

既存配管類塗装等改修表

記号	用途：材質・径・改修内容	数量
(イ)	竪樋：撤去新設　ｶﾗｰVP(中継用ﾄﾞﾚﾝ・SUS支持金物共)	φ100：223m φ75：26.4m
(ロ)	手摺・タラップ・消火管等：ｽﾁｰﾙ・DP塗替・糸巾300程度	458m
(ハ)	ﾄﾞﾚﾝ：塗替え　ﾀｰﾙｴﾎﾟ塗(錆落とし共)φ100用程度	17箇所
(ニ)	給水管ラッキング新設（撤去:40.3m・消火管分共）	φ32：4.0m φ40：8.3m

特記事項

課長	担当課長	係長	担当
花畑		花畑	北谷

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日　2022年 8月

工事名称　明石市立野々池中学校南校舎外壁改修工事

図面名称　断面詳細図・改修参考数量表　縮尺　1/50

内　5　全葉　5